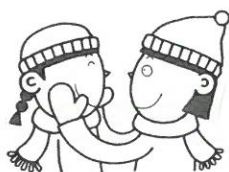


令和元年 12月25日(水) 第33号



2学期が終了します！



2学期もいよいよ終わります。2学期は、学校行事も多くて、ともすればバタバタと過ごしてしまいがちです。実際、「なんとなく過ごしているうちに今日を迎えた」という人もいないのでしょうか。無事に終業式の日を迎えた今、長かった2学期を総括したいと思います。



2学期をふり返るなら、やはり学校行事は避けて通れません。「水泳大会」に始まり、「合唱コンクール」、「文化発表会」、「体育大会」と、61期生にとっては、どれも2回目となる行事が続きました。当然、それらの行事の“完成度”は去年より高いものが求められます。果たして、結果はどうだったのか。結論からいえば、“完成度”は去年より高かったと、先生たちは思っています。確かに練習段階ではいろいろなことがありました。練習態度や完成度について厳しい話をしたこともあります。しかし、『雨降って地固まる』というように、それらの厳しい話を通して、各クラスがひとつの「学級集団」としてまとめ、独自の“色”^{カラー}を放ち始めていきました。61期生にとっては、3年間で一度きりの「職場体験学習」も大きな経験となりました。普段はあまり意識しないかもしれませんが、自分が“地域の一員”であることを実感できた瞬間でした。今月には、その恩返し・恩送りの気持ちを込めて、「地域清掃」もしました。掃除当番の掃除とは一味違った「清掃」に、どのクラスもまるでゲームでも楽しむかのように和気藹々とした雰囲気^{わきあいあい}で街をきれいにすることができました。

1年生のときから変わらず、どんな行事でも、明るく元気に楽しみながら取り組む姿は、先生たちも嬉しくなるほどなのですが、「メリハリをつける」という意味では、課題を残しました。授業は真剣勝負です。気持ちを切り替えて、授業の内容に集中しなければならないのに、授業が始まってからも休み時間中のことを考えているような態度は、“ノリ”では済ませられません。「時間を守る」ということについても課題が多いようです。特に、仲が良くなるにつれて、学年全体に「少しぐらいいいだろう」という空気が流れていました。しかしながら、その空気に問題意識を強くした委員長を中心に声かけが始まると、少しずつその声に反応する人が増えていき、2学期の後半は、学年の状態も少しずつ改善されていきました。これぞ“61期生のやり方”といえます。今後もきっと、学年全体の状態は良いとき・悪いときがあるでしょう。そんなとき、先生に叱られてから改善するのではなく、自分たちで声をかけ合って、自分たちの力で改善していきましょう。この2学期は、その可能性を感じることでできた2学期でした。今後の61期生の成長と活躍が楽しみです。



《冬休み》とも誠実に…



この冬休みは、12日間あります。喜んでいる人も多いとは思いますが、冬休みの課題(宿題)を忘れてはいけません。この“3学期最初の提出物”は、キミたちの“義務”です。この義務を果たさずして「自分の権利」・「自分のやりたいこと」ばかりを主張することは間違いです。まず何より、これらの課題を確実に終わらせなければなりません。しかし、その義務を果たしても、まだ十分とはいえません。4月には3年生になる61期生は、宿題だけで満足するわけにはいきませんよね。



まず、3学期に入ってすぐ(1月9日)に《チャレンジテスト》があります。1年後の入試で可否の判定にも使われる内申書(正式には「調査書」といいます)の点数に影響を与えるテストです。それも、去年は国語・数学・英語の3教科だけでしたが、今年はそれに理科・社会を加えた5教科でテストがおこなわれます。そこで、各教科の授業で《チャレンジテスト》に向けた説明や取り組みがあったと思います。もちろん、キミたちはそれにも誠実に取り組んだとは思いますが、しかしながら、それだけで「対策は万全！」というまではいきません。この冬休みの間に、1・2年生の復習などをして、さらに《チャレンジテスト》の対策をしてください。1年生の教科書を読み直したり、問題集や参考書を使ったりするのもいいし、保管してある定期テストの問題をもう一度やり直すのもいいでしょう。ちなみに、大阪府のホームページでは、過去の問題と解答が公表されています。家でインターネットができる人は、そういうものを利用するのもいいと思います。自分の進路を切り開くテストを、何もせずに待ち構えるのではなく、自分から対策をして《攻略する》のです。この冬休みは、「正月ぐらいゆっくりしたい」・「遊びたい」・「勉強したくない」などと思ってしまう自分との勝負です。さあ、どれだけ“意志の弱い自分”に打ち勝つことができるか――。



学校行事も少なく、期間も短い3学期ですが、越えるべきハードルはチャレンジテストだけではありません。1月下旬には実力テストもあるし、2月下旬には学年末テストがあります。そろそろ実感として気づいていると思いますが、毎日・毎時間の授業がそれらのテストにつながっています。授業をいい加減に受けて、提出物をおろそかにしながら「いい点数をとりたい」「いい成績がほしい」はあり得ません。なんとなく過ごす冬休み・ダラダラと過ごす冬休みの向こうに何が待っているのか。自分の人生に対して誠実に向き合うという姿勢は、常に心に留めておいてくださいね。



保護者のみなさまへ

先日は、お忙しい中を学期末懇談にご来校いただき、誠にありがとうございました。学習の成果や課題を中心に、時には厳しい話をさせていただきましたが、それらをもとに、冬休みには、ご家庭でゆっくりとお話をしていただければと願っております。最後になりましたが、保護者のみなさまのご理解とご協力のおかげで、無事に2学期の終業式を迎えることができました。心より感謝を申しあげます。ありがとうございました。みなさま、どうぞお健やかに良いお年をお迎えください。